



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月29日

上場会社名 日本電気硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 5214 URL <https://www.neg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 松本 元春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 津田 幸一

TEL 077-537-1700

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

2021年8月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	142,344	23.4	15,332	97.4	22,811	231.1	13,533	98.3
2020年12月期第2四半期	115,381	13.6	7,767	17.6	6,888	21.0	6,824	24.2

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 22,378百万円 (%) 2020年12月期第2四半期 2,452百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	140.03	
2020年12月期第2四半期	70.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	679,641	494,107	72.0
2020年12月期	658,139	476,920	71.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 489,636百万円 2020年12月期 472,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		50.00		50.00	100.00
2021年12月期		50.00			
2021年12月期(予想)				60.00	110.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

2. 配当予想の修正については、本日(2021年7月29日)公表いたしました「2021年12月期配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	15.3	28,000	58.5	32,000	67.5	21,000	37.7	217.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注)詳細は添付資料9ページ2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	99,523,246 株	2020年12月期	99,523,246 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	2,865,651 株	2020年12月期	2,882,008 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	96,648,184 株	2020年12月期2Q	96,628,447 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、7月30日に当社ホームページ(URL <https://www.neg.co.jp/>)にて開示します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[第2四半期連結累計期間]

①概況

世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の流行が依然として経済活動に影響を及ぼしているものの、一部の地域ではワクチン接種が進む中で回復の動きが見られました。国内経済においても、雇用情勢や個人消費は弱いものの、設備投資や鉱工業生産については持ち直しの動きが続きしました。

このような中、当第2四半期連結累計期間（2021年1月1日～6月30日）においては、ディスプレイや自動車部品向け高機能樹脂の旺盛な需要を背景に、主力の薄型パネルディスプレイ（FPD）用ガラス及びガラスファイバの出荷が増加し、医薬用管ガラスや他の製品も総じて堅調に推移したため、売上高は前年同期（2020年1月1日～6月30日）を上回りました。

損益面では、売上高の増加や稼働率の上昇、生産性の向上等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を大きく上回る結果となりました。

②経営成績

	前第2四半期連結累計期間 (2020/1～2020/6) (億円)	当第2四半期連結累計期間 (2021/1～2021/6) (億円)	増減 (%)
売上高	1,153	1,423	23
営業利益	77	153	97
経常利益	68	228	231
親会社株主に帰属する四半期純利益	68	135	98

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第2四半期連結累計期間 (2020/1～2020/6)		当第2四半期連結累計期間 (2021/1～2021/6)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報	641	56	736	52	95	15
	機能材料・その他	512	44	686	48	174	34
合計		1,153	100	1,423	100	269	23

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

電子・情報：

FPD用ガラスは、旺盛な需要が継続する中、計画を上回る速さで第1四半期（2021年1月1日～3月31日）中に停電により停止した国内事業場の生産設備を立ち上げることができ、その他の拠点も着実に生産性が向上してきたことから、出荷は前年同期比で増加しました。光関連・電子デバイス用ガラスは、光関連が減少したものの、家電や半導体、自動車部品向けが堅調であったことから、出荷は前年同期比で増加しました。

機能材料・その他：

ガラスファイバは、自動車部品向け高機能樹脂用途等の強い需要に対し、昨年休止した生産設備の再稼働を進めたこと等により、出荷は前年同期比で増加しました。医薬用管ガラスは、感染症ワクチン容器向けを含め世界的に需要が旺盛な中、昨年生産を開始したマレーシアの新設備が寄与し、出荷は前年同期比で増加しました。耐熱ガラス及び建築用ガラスも前年同期比で増加しました。

(損益面)

営業利益については、物流費や原燃料費が上昇したものの、売上高の増加や稼働率の上昇、生産性の向上等により前年同期を大きく上回りました。

経常利益については、営業利益の増加に加えて、海外子会社への融資に係る債権債務の評価替えによる為替差益を計上したこと等から、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益及び経常利益が増加したこと、また、前述の停電に伴う操業の一時的な停止や設備修繕等の費用を特別損失に計上したものの、投資有価証券売却益や2019年に発生した台風による国内生産設備の損傷に係る受取保険金を特別利益に計上したこと等により前年同期を大幅に上回りました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2021年12月期通期連結業績予想)

	2021年12月期 通期 (2021/1～2021/12) (億円)
売上高	2,800
営業利益	280
経常利益	320
親会社株主に帰属する当期純利益	210

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

感染症は依然として経済活動に影響を及ぼしていますが、各国でワクチン接種が進む中、世界経済は緩やかに回復していくものと期待されます。一方で、感染症の再拡大や世界的な半導体不足、原燃料や生産資材価格の上昇、国際物流の動向等が当社の関連市場に影響を及ぼす可能性があります。

このような中、「電子・情報」分野においては、FPD用ガラスは、ディスプレイ市場の旺盛な需要を背景に、今後も出荷は堅調に推移するものと予想しています。中国廈門において生産能力の増強を行い、中国市場の需要を取り込んでいきます。光関連・電子デバイス用ガラスは、家電や半導体だけでなく、自動車、医療等の成長市場において拡販と新製品の開発を進めていきます。

「機能材料・その他」分野においては、ガラスファイバは、自動車関連市場向けを中心に堅調な出荷が見込まれます。医薬用管ガラスは、更なる生産性の向上に努め、需要増加に対応していきます。耐熱ガラスや建築用ガラスは、新製品を中心に拡販を進めていきます。

損益面では、海上運賃を中心とした物流費の高騰、原燃料や生産資材の大幅なコストアップ等が懸念材料ですが、諸費用の管理を強化しつつ、生産性の向上を継続して、予想した利益の確保を目指してまいります。

以上を踏まえ、当社グループの2021年12月期通期連結業績予想については、上表のとおり前回予想(2021年4月28日)を据え置くことといたします。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場の変動、為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化、感染症の流行などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	121,440	134,465
受取手形及び売掛金	59,286	63,691
商品及び製品	35,317	25,868
仕掛品	2,359	1,038
原材料及び貯蔵品	23,186	26,782
その他	4,973	4,748
貸倒引当金	△163	△186
流動資産合計	246,399	256,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	71,738	71,748
機械装置及び運搬具（純額）	249,825	250,582
その他（純額）	34,164	44,873
有形固定資産合計	355,727	367,204
無形固定資産	5,207	5,050
投資その他の資産		
その他	50,825	50,997
貸倒引当金	△21	△19
投資その他の資産合計	50,804	50,978
固定資産合計	411,739	423,232
資産合計	658,139	679,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,501	33,762
短期借入金	47,019	23,414
未払法人税等	1,533	4,044
その他の引当金	2,291	1,965
その他	24,230	29,064
流動負債合計	103,576	92,250
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	34,668	39,077
特別修繕引当金	9,341	10,020
その他の引当金	20	18
退職給付に係る負債	1,035	1,119
その他	12,576	13,045
固定負債合計	77,643	93,283
負債合計	181,219	185,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,310	34,294
利益剰余金	411,137	419,816
自己株式	△10,178	△10,120
株主資本合計	467,425	476,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,775	19,263
繰延ヘッジ損益	98	△115
為替換算調整勘定	△14,101	△5,659
その他の包括利益累計額合計	4,773	13,488
非支配株主持分	4,721	4,471
純資産合計	476,920	494,107
負債純資産合計	658,139	679,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	115,381	142,344
売上原価	91,530	104,781
売上総利益	23,851	37,563
販売費及び一般管理費	16,083	22,231
営業利益	7,767	15,332
営業外収益		
受取利息	320	305
受取配当金	674	695
為替差益	—	5,393
その他	726	2,070
営業外収益合計	1,721	8,465
営業外費用		
支払利息	299	255
固定資産除却損	155	273
為替差損	1,344	—
その他	802	457
営業外費用合計	2,600	986
経常利益	6,888	22,811
特別利益		
投資有価証券売却益	670	1,990
受取保険金	—	1,392
特別修繕引当金戻入額	3,033	—
特別利益合計	3,703	3,382
特別損失		
事故損失	376	6,191
減損損失	402	—
その他	429	310
特別損失合計	1,207	6,502
税金等調整前四半期純利益	9,384	19,691
法人税等	2,387	6,028
四半期純利益	6,996	13,662
非支配株主に帰属する四半期純利益	172	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,824	13,533

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	6,996	13,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,813	487
繰延ヘッジ損益	△296	△214
為替換算調整勘定	△5,282	8,242
持分法適用会社に対する持分相当額	△57	199
その他の包括利益合計	△9,449	8,715
四半期包括利益	△2,452	22,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,625	22,249
非支配株主に係る四半期包括利益	172	128

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,384	19,691
減価償却費	12,268	12,624
投資有価証券売却損益 (△は益)	△670	△1,990
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△3,432	679
為替差損益 (△は益)	1,375	△4,319
売上債権の増減額 (△は増加)	4,362	△327
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,232	8,532
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,456	5,758
法人税等の支払額	△1,319	△2,967
その他	738	65
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,483	37,747
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	872	2,870
固定資産の取得による支出	△8,646	△14,411
その他	90	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,683	△11,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	312	△1,437
長期借入れによる収入	15,710	6,092
長期借入金の返済による支出	△1,512	△24,779
社債の発行による収入	—	10,000
配当金の支払額	△4,829	△4,832
非支配株主への配当金の支払額	△674	△353
その他	△335	△609
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,671	△15,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	△945	2,374
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,526	13,009
現金及び現金同等物の期首残高	100,977	121,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	116,503	134,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報の記載から重要な変更はありません。